平成　　年　　月　　日

ハウスプラス確認検査株式会社　殿

建築設備工事監理状況報告書

（東京都以外の物件用）

|  |
| --- |
|  |

建築物名称又は

工事件名

工事監理者　事務所名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　登録第　　　　　　　　　　　　　　　　　　号

所在地

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

資格　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　級建築士登録第　　　　　　　　　　　　　　　　　　号

電話

建築設備士　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

登録番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　第　　　　　　　　　　　　　　　　　号

工事施工者　会社名

所在地

氏名

建設業許可　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　第　　　　　　　　　　　　　　　　　　号

電話

建築主　　　　住所

氏名

下記の建築物は、建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合して施工し、防災上、衛生上、安全であることを確認しましたので報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物名称 |  |
| 建築場所 | （地名地番）　　　　　　　　　　　　　　　　　　（住居表示） |
| 確認年月日・番号 | 年　　　　月　　　　日　　　第　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　号 |
| 工事概要 | 構造 | S RC SRC PC CB W 工事種別　　新　　増　　用途変更 |
| 規模 | 地上　　　　階　地下　　　階　用途 |
| 建築面積　　　　　　　　㎡　　延べ面積　　　　　　　　㎡　　頂部高さ　　　　　　　　ｍ |
| 確認申請後の設計変更（有・無） | 年　　　　月　　　　日　　　第　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　号 |
| 内容 |
| 工事監理者総合所見 |  |

注：工事写真とデータと共に 「正・副」 ２部を工事の完了検査時に提出すること。

１．設備概要　　　　　〔該当事項を○で囲み、　(　)　部分に必要事項を記入してください〕

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　　　分 | 概　　　　　　　　　　　　　　　要 |
| 給水排水設備 | 給水源 | 都水　・　井水　・　その他（　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　無 |
| 給水方式 | 直結　・　増圧　・　高架方式　・　加圧方式　・　その他（　　　　　　　　　　　　）　無 |
| 受水槽 | （　　　）基　・　（　　　　）ton　・　設置場所（　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　無 |
| 排水槽 | 汚水槽　・　雑排水槽　・　合併槽　・　その他（　　　　　　　　　　　　　）　　　　　無 |
| 給水管材質 | VP管　・　鋼管　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　　　　　無 |
| 排水・通気管材質 | VP管　・　鋼管　・　耐火二層管　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　無 |
| 熱源設備/空調換気設備 | 熱源の種類 | 都市ガス　・　LPG　・　電気　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　　　無 |
| 毎時１２ｋｗを超える燃焼器具の排気 | 煙突　・　排気フード　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　無 |
| 給湯器具の種類 | ﾊﾞﾗﾝｽ釜（BF）　・　強制給排気式（FF）　・　強制排気式（FE）　・　電気温水器　・ボイラー　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　無 |
| 空調方式 | セントラル　・各階ユニット　・　個別　・　その他（　　　　　　　　　　　　）　　　　　無 |
| 居室の換気 | 自然換気(1/20)　・　機械換気（集会場　・　火気使用室　・　無窓居室　・便所・浴室等）　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　無 |
| ダクトの材質 | 火気使用部分 | 便　所 | 浴　室 | その他（　　　　　　　　） |
|  |  |  |  |
| 防災設備 | 排煙設備 | 自然排煙（ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ付き窓　・　窓）　・　機械排煙（一部　・　全部）告示第1436号　二･三・四（　　　　　　　　　　）・　その他（　　　　　　　　　　　　）無 |
| 排煙機の予備電源 | ACﾓｰﾀｰ併用ｴﾝｼﾞﾝ　　・発電機（設置場所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　無 |
| 非常用照明の設置場所 | 居室　・　避難経路　・　告示第1411号　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）無 |
| 非常用電源の予備電源 | ﾊﾞｯﾃﾘｰ（内蔵　・　別置）　・　ﾊﾞｯﾃﾘｰ併用発電機　　　　　　　　　　　　　　　　　　無 |
| 避雷設備 | 突針（　　　）本　・　棟上げ導体　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　無 |
| 煙感連動の防災機器 | 扉　・　シャッター　・　ダンパー　・　たれ壁　・　その他（　　　　　　　　　　　　　）無 |
| 熱感連動の防災機器 | 扉　・　シャッター　・　ダンパー　・　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　無 |
| 延焼の恐れのある部分に設ける防災設備 | φ（　　　　　　　　　　）金属製VC　・　ヒューズ付ダンパー　・　ドレンチャーFD付ウェザーカバー　・　0.8mm可動ガラリ　・　その他（　　　　　　　　　　　　）無 |
| 区　　　　分 | 概　　　　　　　　　　　　　　　要 |
| 昇降機 | 種類及び台数 | エレベーター | 小荷物専用昇降機 | エスカレーター |
| 乗用 | 人荷用 | 荷物用 | 寝台用 | 自動車用 | 非常用 |  |
| 台 | 台 | 台 | 台 | 台 | 台 |  | 台 |
| 確認年月日・番号 | 平成　　　　　年　　　　　月　　　　　日　　　　　第　　　　　　　　　　　　　　　　　　　号 |
| ２．確認事項　　　　〔該当項目欄□に　✓　をし、良・否いずれかを○で囲んでください〕 |
| 全　　　体 |
| １ | □ | 電気・水道・ガス設備は本設で最終位置まで接続していることを確認した。 | 良　　否 |
| ２ | □ | 敷地内外の給排水設備の接続は、完了していることを確認した。 | 良　　否 |
| ３ | □ | 設備機器は、当該敷地境界線から突出していないことを確認した。 | 良　　否 |
|  |
| 給　排　水　設　備 |
| １ | □ | 屋上突出設備（高架水槽・ｷｭｰﾋﾞｸﾙ・室外機等）は地震時に転倒しないための措置がとられていることを確認した。 | 良　　否 |
| ２ | □ | 受水槽は地震時に転倒しないための措置がとられていることを確認した。 | 良　　否 |
| ３ | □ | 受水槽及び高架水槽は、６面点検できることを確認した。 | 良　　否 |
| ４ | □ | 高架水槽は保守点検のための安全対策（ｽﾃｰｼﾞ・手すり等）が施されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ５ | □ | 受水槽及び高架水槽は、施錠付であることを確認した。 | 良　　否 |
| ６ | □ | 受水槽室内には、排水管等が貫通していないことを確認した。 | 良　　否 |
| ７ | □ | 飲料水系とその他水系は直結されていないことを確認した。また、飲料水系の水質は基準を満たしていることを確認した。 | 良　　否 |
| ８ | □ | 排水槽は昭和50年建設省告示第1597号第2に基づき施工されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ９ | □ | 雨水排水管と汚水管を連結するときは､直前にトラップ桝等が設けられていることを確認した。 | 良　　否 |
| 10 | □ | 雨水排水管立て管は、他の用途の排水管・通気管と兼用又は連結されていないことを確認した。 | 良　　否 |
| 11 | □ | 流し器具・洗面器具及び浴槽は、規定の排水トラップが設けられていることを確認した。 | 良　　否 |
| 12 | □ | 飲食店等の排水設備には、グリストラップが設けられていることを確認した。 | 良　　否 |
| 13 | □ | 駐車場（50㎡以上）には、ガソリントラップが設けられていることを確認した。 | 良　　否 |
| 14 | □ | 防火区画、防火上主要な間仕切等を貫通する給排水配管は、規定の材質で施工されていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| 15 | □ | 和風便器、グリストラップが防火区画を貫通するときは、耐火被覆等の処置がされていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| 16 | □ | 共同住宅等の室内配管が防火区画貫通処理の範囲１Mについて耐火2層管等で配管されていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| 17 | □ | 合併処理浄化槽が申請どおり設けられていることを確認した。(※工事中及び型式番号がわかる写真を撮ること。）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| 18 | □ | 合併処理浄化槽、くみ取り便所の便槽が24時間漏水していないことを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |

|  |
| --- |
| 換　気　設　備 |
| １ | □ | 居室には当該床面積の1/20以上の外気に開放できる窓又は規定の機械換気設備が設けられていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※機械換気データ | 良　　否 |
| ２ | □ | 換気上の無窓居室には、規定の機械換気設備が設けられていることを確認した。※データ | 良　　否 |
| ３ | □ | 火気使用室には、排気設備及び給気口が規定どおりに設けられていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※データ | 良　　否 |
| ４ | □ | ガス栓が設けられた居室には、換気口があることを確認した。 | 良　　否 |
| ５ | □ | 密閉式及び半密閉式ガス器具に設けられた排気筒（煙突）には防火ダンパーが取付けられていないことを確認した。 | 良　　否 |
| ６ | □ | 火気使用室の排気ダクト、排気筒は規定どおりの材質で施工され、地震その他の衝撃等により脱落しないことを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| ７ | □ | テナント未定の店舗には、配管用スリーブ（トイレ・居室・厨房の給気及び排気等）があることを確認した。 | 良　　否 |
| ８ | □ | シックハウス対策が必要な室には規定の機械換気設備が設けられていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※データ | 良　　否 |

|  |
| --- |
| 排　煙　設　備 |
| １ | □ | 排煙を要する場所には、当該床面積の1/50以上の外気に開放できる窓又は規定の機械排煙設備が設けられていることを確認した。　　　　　　　　　　※機械排煙データ | 良　　否 |
| ２ | □ | 送風機を設けた排煙設備その他の特殊な構造の排煙設備の場合、平成12年建設省告示第1437号に基づき施工されていることを確認した。　　　　　　　　　　※データ | 良　　否 |
| ３ | □ | 排煙用防火ダンパーの温度ヒューズは280℃で、ヒューズホルダーも排煙用であることを確認した。 | 良　　否 |
| ４ | □ | 手動開放装置は規定の高さに設けてあり、ワイヤーは曲げ箇所が少なく、全長も短く容易に操作できることを確認した。 | 良　　否 |
| ５ | □ | 排煙ダクトは、必要箇所に断熱被覆がされていることを確認した。　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| ６ | □ | 排煙用機器は防災性能評定品であることを確認した。 | 良　　否 |
| ７ | □ | 予備電源への切替え回路は正常に作動し、配線は規定どおりに施工されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ８ | □ | 特別避難階段及び附室の排煙設備は規定どおりに施工され確実に作動することを確認した。 | 良　　否 |
| ９ | □ | 機械排煙設備起動等が作動しても負圧による当該区画内の避難方向への戸の開閉に支障がないことを確認した。 | 良　　否 |
| 10 | □ | 機械排煙設備等の作動と連動して、換気、空調設備が停止することを確認した。 | 良　　否 |

|  |
| --- |
| 非　常　用　照　明　設　備 |
| １ | □ | 非常用照明装置は、規定どおりの照度があることを確認した。　　　　　　　　※データ | 良　　否 |
| ２ | □ | 電池内蔵型の非常用照明装置は、結線に間違いがなく電池が正常に充電されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ３ | □ | 非常用照明装置はJIL自主評定品であることを確認した。 | 良　　否 |
| ４ | □ | 別置電池への切替え回路は正常に作動し、配線は規定どおりに施工されていることを確認した。 | 良　　否 |

|  |
| --- |
| 予　備　電　源 |
| １ | □ | 常用の電源から予備電源への切替に支障ないことを確認した。 | 良　　否 |
| ２ | □ | 耐熱規制を受けた配線、分電盤等で施工されていることを確認した。 | 良　　否 |

|  |
| --- |
| 避　雷　設　備【JIS A 4201-2003規格の場合】 |
| １ | □ | 外部保護システムは設計どおり施工している。　　　　　　　　　　　　　※写真・データ | 良　　否 |
| ２ | □ | 外部保護システムの構成部材が全て良好な状態にあり、設計どおりの機能を満たしている。 | 良　　否 |
| 避　雷　設　備【JIS A 4201-1992規格の場合】 |
| １ | □ | 高さ２０mを超える部分が保護角内に納まり、接地極が地下０．５m以上の深さに埋設され、規定の接地抵抗値以下であることを確認した。　　　　　　　　　　　　※データ | 良　　否 |
| ２ | □ | 避雷導線から1.5m以内の金属体（電線管・鉄格子・フェンス等）は、電気的に接続されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ３ | □ | 簡略法による鉄骨・鉄筋と導線接続用鉄板の溶接は、規定どおり施工されていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |

|  |
| --- |
| そ　の　他 |
| １ | □ | 防火戸（シャッター・防火ダンパー・たれ壁）は正常に作動することを確認した。　　　　　　　　　　 | 良　　否 |
| ３ | □ | 防火シャッター（煙・熱感連動）は随時閉鎖できる手動降下装置付きであることを確認した。 | 良　　否 |
| ４ | □ | 防火戸（シャッター・防火ダンパー・たれ壁）は、防災性能評定品であることを確認した。 | 良　　否 |
| ５ | □ | 防火戸（シャッター・防火ダンパー・たれ壁）の制御用配線は、規定どおりに施工されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ６ | □ | 防火区画を貫通するダクト及び延焼の恐れのある部分の開口部には防火ダンパー等が取り付けられていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| ７ | □ | 防災上主要な間仕切り等を貫通するダクトには防火ダンパーが取り付けられていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| ８ | □ | 防火区画、防火上主要な間仕切り等を貫通するダクト及び配管は、埋め戻しが完全であることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| ９ | □ | 防火ダンパー本体は、吊り金物等により直接躯体に堅固に取り付けられていることを確認した。 | 良　　否 |
| 10 | □ | 防火ダンパーには保守点検が容易に行える位置に点検口（450×450）があることを確認した。 | 良　　否 |
| 11 | □ | 防火ダンパーの構造は、日本防排煙工業会の自主適合マーク等により確認した。 | 良　　否 |
| 12 | □ | 3階建て以上の建築物の直通階段に面して、換気扇等の開口部がないことを確認した。 | 良　　否 |
| 13 | □ | 屋外避難階段から2m未満の範囲に開口部のないことを確認した。　　　　　 | 良　　否 |

|  |
| --- |
| 昇　降　機 |
| １ | □ | エレベーター機械室の床は、防塵塗料で仕上げられていることを確認した。 | 良　　否 |
| ２ | □ | エレベーター機械室の天井は、不燃材料で仕上げられていることを確認した。 | 良　　否 |
| ３ | □ | エレベーター機械室に窓がない場合は、非常用照明装置が設置されていることを確認した。 | 良　　否 |
| ４ | □ | エレベーター機械室は換気設備が有効に設けられていることを確認した。 | 良　　否 |
| ５ | □ | エレベーター機械室に通ずる階段の構造、機械室の出入口の構造は規定どおりであることを確認した。 | 良　　否 |
| ７ | □ | エレベーター機械室の面積、床面から天井又ははりの下端までの垂直距離は規定どおりであることを確認した。 | 良　　否 |
| ８ | □ | エレベーター機械室及び昇降路内には、他の配管･配線等がなされていないことを確認した。 | 良　　否 |
| ９ | □ | 鉄骨造のエレベーター機械室及び昇降路内は、容易に剥離しない材料で耐火被覆されていることを確認した。 | 良　　否 |
| 10 | □ | エレベーターピットは、防水の施工が完全にされていることを確認した。 | 良　　否 |
| 11 | □ | エレベーターピット床が2重スラブの場合は、規定どおりに施工されていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |
| 12 | □ | エレベーター昇降路は耐火構造で区画され、穴・すき間・突起物がないことを確認した。 | 良　　否 |
| 13 | □ | エレベーター乗降ロビーが開放廊下等に面する場合は、雨水浸入防止対策が取られていることを確認した。 | 良　　否 |
| 14 | □ | エレベーター乗降ロビーは、規定どおりの防煙対策がとられていることを確認した。 | 良　　否 |
| 15 | □ | 非常用エレベーターの各階乗降ロビー内の見やすい位置に避難経路図を掲示した。 | 良　　否 |
| 16 | □ | エレベーター巻上機の支持梁は、規定どおり施工されていることを確認した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※写真 | 良　　否 |